

「新世代のための月間」に因んで

国際ロータリー
第2660地区

ガバナー

新谷 秀一

残暑お見舞い申し上げます。

9月は「新世代のための月間」です。ウィルフリッドJ. ウィルキンソンR I会長のテーマ「ロータリーは分かちあいの心」の講演の中で「私たちが青少年活動を通じて愛を分かちあうのは、青少年はロータリーだけでなくすべての人々にとっての未来であるからです。青少年プログラムの強化に努めることにより、今日ここにいる私たちがやがて席を譲る日がやってきたときに、強い責任感と倫理観を持つボランティア志向の新世代が、この席を埋め尽くしてくれるはずです。これらの若い人々は、私たちのほるか先に広がるロータリーの未来への架け橋なのです。」と話されています。今も、ロータリーは青少年のためのプログラムがいろいろな角度から数多く準備されています。IAC、RAC、RYLA、国際青少年交換、R財団の教育的プログラム（国際親善奨学金・GSE・財団学友等）、R米山記念奨学会などがあります。当2660地区もこれらプログ

ラムごとに、すべてに各委員会が設置され地区委員会として活動しています。また、各委員会委員長とこれを統括する議長とで新世代合同委員長会議も置かれ、情報の交換や共有によってお互いに協力しあう体制が作られています。地区内にはIAC6クラブとRAC21クラブ（スポンサークラブ24）がありますが、去る5月、当地区のRAの年次大会に出席し各クラブとも若者らしい発想のもとにユニークな活動が展開をされており、将来のロータリアンとして大いに期待したいと思います。国際青少年交換、国際親善奨学金、GSE、財団学友、R米山奨学会などによる世界の新世代との交流が盛んになり、国際親善と相互理解を深めることも重要です。新世代への活動はロータリーの最も重要な将来への投資です。各クラブともR財団などの有効活用によるクラブ活性化策としてご一考いただく機会になればと思います。